

## 「第79回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

➤開催日時：令和6年2月14日（水）14時00分～15時30分

➤出席人数：会場13人（欠席6人） 傍聴：0人

### 1 乗合タクシー（デマンド型交通）の実証実験運行に係る決定事項について（報告）

資料1について公共交通課から説明

- ・運行事業者は、令和6年2月1日開催のデマンド型交通運行事業者選定審査委員会で審査し、小平交通有限会社に決定した。
- ・予約・配車システムは、市が候補として挙げたシステム事業者3社の中から、運行事業者が順風路株式会社に選定した。
- ・運賃については、考える会の中で検討した300円～400円の範囲の中で設定することとなっていたが、予約・配車システム事業者の選定に伴い、経費が定まったことから300円で設定することとなった。
- ・令和6年2月7日開催の運賃協議会には、市長が指名する関係住民の意見を代表する者として、考える会から小田倉座長の代理で鈴木さんが出席した。  
運賃については、大人（中学生以上）300円、子ども（小学生）150円、未就学児が無料で協議が整った。いずれも定額運賃とし、南西部地域を西武国分寺線で東西2つのエリアに分けたうえで、曜日ごとに各エリアを超えずに運行する。
- ・実証実験運行期間は、令和6年6月上旬から令和7年5月下旬までの、12か月程度とする。
- ・運行エリアは、南西部地域（西武多摩湖線より以西、青梅街道より以南）を2つのエリアに分け、それぞれのエリアを越えず運行する。上水本町エリア（西武国分寺線より以東）は、上水本町、学園西町、津田町、小川町二丁目の一部、鷹の台駅西側エリア（西武国分寺線より以西）は、たかの台、上水新町、中島町、小川町一丁目の一部とする。
- ・運行システム等については、考える会で検討した内容を令和6年2月7日開催の地域公共交通会議において協議し、特段見直しすることなく協議が整った。
- ・対象者は制限なく、運行方法は、運行エリア内の指定の乗降場所間を運行する。
- ・乗降場所は、駅・バス停・公共施設・病院・買い物先等を目的地に設置する。  
警察との実査により安全に乗降できない場所や、地権者・店舗等との調整により精査し、現時点では、上水本町エリアは60か所から35か所へ、鷹の台駅西側エリアは40か所から38か所となった。引き続き、地権者や店舗、施設等と設置の承認に向けて調整を行う。  
詳細については、次の2乗降場所の調整状況について（報告）で報告する。
- ・運行曜日は月曜日から金曜日で、祝日、年末年始は除く。エリア別に運行曜日を分け、上水本町エリアが水曜・金曜日の週2日で、鷹の台駅西側エリアが月曜・火曜・木曜日の週3日とする。
- ・運行時間は、8時30分から18時までで、12時台は予約不可の時間帯とする。
- ・運行車両は、ワンボックス車の専用車両1台とし、予備車両は、タクシー車両を時間貸切とする。乗車定員は6人（乗務員除く）の予定である。
- ・予約方法は、オペレーターによる受付電話とAIシステムを活用したスマートフォンアプリでの予約を併用する。

#### 質疑等

- ・運賃協議会において、考える会として、実証実験運行を実施する中で、エリア跨ぐ移動の要望が出た場合は、運賃を上乗せして対応するなどの方法も考えられるということを伝えた。
- ・将来的に、エリアを跨ぐ運行は可能か。予約・配車システムで対応が可能か。  
→（公共交通課）実施する中でニーズが生じた場合は、改めて考える会で検討することとなる。  
なお、システムでの対応は可能である。

## 2 乗降場所の調整状況について（報告）

資料2-①②について公共交通課から説明

- ・資料2-①の見え消しの箇所は、警察との実査において、安全に乗降、待機、運行できない場所や店舗・地権者との調整の結果削除することとなった。  
都営たかの台アパートの北側の住宅地は道路が狭く、私道のため住民以外は通行禁止との看板があることから、候補地から削除した。
- ・上水本町のサンドラッグ恋ヶ窪店については、駐車場への乗入が困難なことから候補地から削除した。  
設置できなかった場所の周辺については、代替地を探しているので、候補地があれば知らせたい。
- ・乗降場所については、運行開始後も利用状況や地域ニーズに応じて、見直しを行っていくことも可能と考えている。

#### 質疑

- ・乗降場所No.の78の武蔵野鷹の台ガーデンハウス（武蔵野美術大学正門）については、マンションの管理組合等との調整や住民の承認が必要であり、決まっていない。見通しとしても非常に厳しいことから削除して欲しい。  
→（公共交通課）現時点で未調整の場所を表記してしまったので削除する。可能であれば、今後、調整をお願いしたい。
- ・資料2-①の実証実験欄の○の意味は。  
→（公共交通課）コミュニティタクシーの実証実験運行の際に、停留所を設置した所である。

## 3 乗合タクシー（デマンド型交通）の実証実験運行に向けた準備について（検討）

資料3について公共交通課から説明

### （1）イメージカラーの検討（ステッカー、ポスター、看板等）

乗降場所を案内するプレートや、車体に貼るステッカー、ポスターなどを作成する際に使用するイメージカラーについて検討する。

#### 質疑

- ・車両の色は決まっているのか。  
→（小平交通）車両については、1年間のリースを予定しているため、色の指定は難しいが、継続運行へ移行した際は、専用車を確保するため、色の指定はできると考えている。  
→（公共交通課）汎用性の高い、白か黒になるのではないかと聞いている。
- ・ぶるべー号の紫とは違う色が良いのでは。
- ・ぶるべー号のキャラクターは「ぶるべー」なので、乗合タクシーは「コダレンジャー」にしては

うか。

→（公共交通課）一つの案として、コダレンジャーを活用し、文字と背景で2色くらいで決めてはどうか。

- ・黄色地に黒だと目立つのでは。
- ・若者に提案してもらってはどうか。

（座長）来月までに考えてきてもらうこととする。

## （２）目標値の検討

これまでも共有してきたことだが、今回の実証実験運行についても、継続的な運行へ移行する判断基準について検討する。

- ・（公共交通課）参考までに、先月の資料1に示した資料では、令和4年度のコミュニティタクシー3ルート平均の1人当たりの公費負担額は329円、収支率は29.5%となっている。乗車人数が少ないコミュニティタクシー鈴木町ルートの1人当たりの公費負担額は393円、収支率は25.9%となっている。コミュニティタクシーとは違う運行方法だが、コミュニティタクシーに準じて目標値を設定する必要がある。

コミュニティタクシーは1日乗車人数70人と定めているが、今回の乗合タクシーの運行方法を考慮して、目標値を考えることが重要である。

予算の算定に当たっては、運賃を300円とし、1日乗車人数を60人と見込んだところ収支率は約30%となり、コミュニティタクシーと同程度になる。

### 質疑

- ・鷹の台駅西側エリアについては、運行エリアが限られているので、目標値として1日乗車人数を50人としても厳しいのでは。エリアを跨ぎ、市役所にも行くことができれば、目標値を達成できると考える。

→（公共交通課）まずは運行してみてエリアを跨ぐニーズがあれば、実証実験運行期間の途中でも見直しすることは、手続的には可能である。その際は、運賃をプラスすることや、乗降場所については、効率的な運行を踏まえ、中央公民館、新小平駅、津田公民館・図書館など限られたポイントのみに設定するなどの条件を付けることが必要であると考えている。

- ・予約・配車システムの事業者ヒアリングの際、南西部地域を二つのエリアに分けず、一つのエリアとしても対応が可能と聞いている。一つのエリアとした方が、使い勝手が良く、利用価値が出てくるので、検討してはどうか。

（小平交通）予約・配車システム事業者によると、一つのエリアとした場合でも対応は可能だが、運行回数が減り効率は下がると言われた。

（座長）考える会では、これまで検討してきた中で、二つのエリアに分けて運行することを決めている。実証実験運行をする中で、エリアを跨ぐニーズがあれば検討する。

- ・実際に利用する人の意見を聞くことが大事であると考え。意見を聞く場として、説明会を開催することは可能か。

（公共交通課）運行システムや運行エリアについては、既に考える会で検討・整理し、その内容については、地域公共交通会議において協議が整っている。そのため、事業を周知・PRするための説明会等は開催するが、新たに運行システム等に対する意見を伺っても、すぐに反映することは困難である。

(座長) 他の自治会全てに意見を聞くのは難しいので、考える会で各自治会から意見を収集し、その代表者が参加し検討を行っている。

- ・デマンド型交通の仕組み知らない人が多い。皆の意見を聞いて反映させれば良いのでは。
- ・地域説明会では、アプリの体験もできることをPRしてはどうか。
- ・バスやコミュニティタクシーは、皆知っている公共交通だが、デマンド型交通は新しい公共交通であることから、利用方法を理解することが難しい。また、コミュニティタクシーと同様の目標値を設定するのは厳しいのでは。

一方で、南西部地域において、デマンド型交通という新しい公共交通を導入するという、チャレンジする姿勢を示していくことも重要である。

→ (公共交通課) デマンド型交通は、コミュニティタクシーには無いAIを活用した予約・配車システムやオペレーター等の経費がプラスされ財政負担は増えるが、よりきめ細かい交通サービスを提供することから、コミュニティタクシーや路線バスよりも運賃は高くなっている。便利な新しい公共交通であることを、ロコミで広げて乗ってもらいたい。

地域説明会では考える会の方だけでなく、公民館のITボランティアに協力いただきながら、利用者登録を増やすことも考えている。

- ・まずは乗ってもらい、目標値に近づけることが大切である。
- ・目標値について、1日乗車人数50人は厳しいのでは。

(公共交通課) 厳しいかもしれないが、下げると他の地域との整合性がつかなくなってしまう。コミュニティタクシーの実証実験運行の際、1日乗車人数40人程度で継続運行に移行できなかった地域があることから、目標値については他の地域とのバランスも考慮することが必要と考える。

(座長) 目標値については、1日乗車人数50人でも厳しいという意見もあるが、1日乗車人数60人、収支率30%を目指していくことで良いか。

- ・目標値の1日乗車人数60人は厳しいかもしれないが、何としてでも成功させていくという気持ちが必要であり、必要であると考え。
- ・近隣市においても、乗合タクシーを導入して成功している事例があることを理解してもらいながら、進めていくことも必要と考える。

(全員) 承認 (目標値: 1日乗車人数60人、収支率30%)

### (3) 周知・PR方法

#### 質疑

- ・南西部地域の自治会の数は。  
→ (公共交通課) 約100位あると想定している。
- ・自治会の代表者に説明をして、そこから各世帯へ広めてもらうのはどうか。
- ・より多くの人にデマンド型交通の概要を知ってもらうため、考える会に参加していない自治会への声掛けも必要と考える。
- ・市から自治会へ周知を図る際は、チラシを班に1枚配布して回覧しているが、配布物が多いとなかなか読んでもらえない。チラシを各世帯へ配布してはどうか。
- ・回覧はチラシがまとめて回されるので、文字を大きくして、目を引く工夫が必要である。

- ・市が考えている周知・PRは。
  - （公共交通課）まずは、3月から自治会や地域の集まりにおいて、デマンド型交通の概要を説明し、次に5月頃にはアプリを体験しながら利用者登録方法を説明する。
  - また、市報において、4月5日号で乗合タクシーの概要について、5月5日号で具体的な利用方法等について周知を図る。
- ・地域説明会の案内をしても、参加を希望する自治会は少ないのでは。15団体位の自治会を指定して、地域説明会を複数に分けて開催してはどうか。
- ・地域説明会は3、4月頃、公共施設で実施予定とのことだが、公共施設の近くの自治会の代表へチラシを配布するなど、前回のコミュニティタクシーの実証実験の時とは違う周知・PR方法をとってみてはどうか。
- ・自治会や店舗の掲示板にポスターを掲示することは効果があり、周知に向いていると考える。

### 3 その他

#### (1) 市からの情報提供

- ・バスとタクシーのひろば in 小平の開催について  
令和6年5月25日（土）午前11時～午後3時  
ブリヂストンイノベーションギャラリー駐車場
- ・小平市の地域公共交通基本方針の策定について  
パブリックコメントを実施し、その意見を反映して一部修正した。来月に策定し、パンフレットを作成するので、考える会の皆さんにも配布する予定である。

#### (2) 参加団体からの情報提供

特になし

#### 【今後の予定】

**第80回 令和6年3月13日（水）14時～ 小川公民館 ホール**

次回は、

- ・乗合タクシーのイメージカラーの検討
- ・乗合タクシーの実証実験運行に当たっての、周知・PR方法の検討